

令和5年度  
舞台芸術等総合支援事業  
( 劇場・音楽堂等機能強化総合支援 )

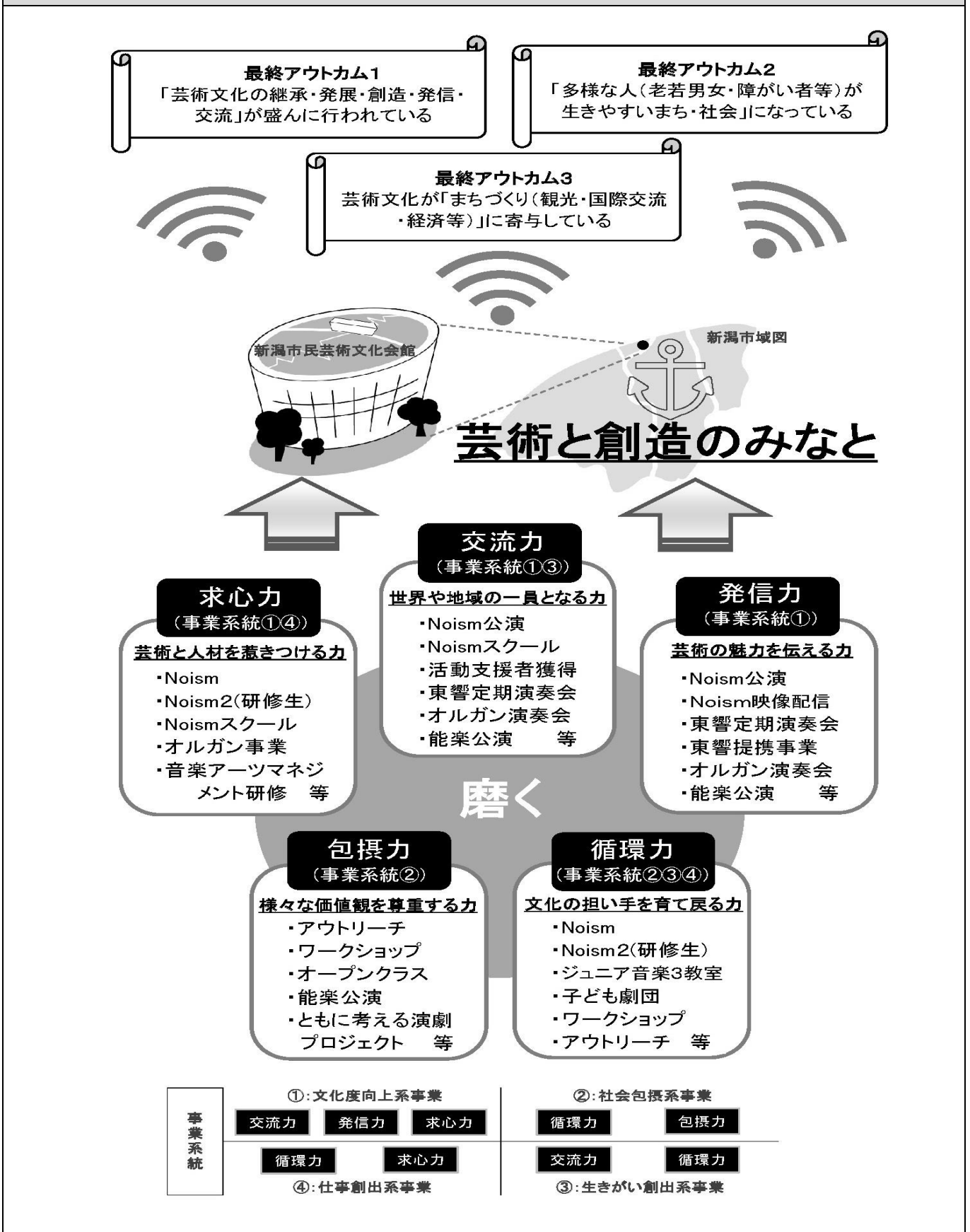
自己点検報告書

団 体 名	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団	
施 設 名	新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）	
助 成 対 象 活 動 名	五つの力を磨き実現する『芸術と創造のみなと』	
助 成 期 間	5	(年間)
内 定 額	56,472	(千円)

# 1. 事業概要

## (1) 事業計画の概要

全体図（概念図）



## (2) 令和5年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	管弦楽の真髄～東響演奏会プログラム	R5年6月4日他	井上道義(指揮)、上野通明(チェロ)、東京交響楽団(管弦楽)他	目標値	5,912
		コンサートホール		実績値	6,046
2	Noism Company Niigata Noism0/Noism1 公演事業	R5年6月30日他	演出振付:金森穰、音楽:アルヴォ・ペルト、衣裳:宮前義之、出演:金森穰、井関佐和子 他	目標値	4,800
		劇場他		実績値	4,571
3	能楽事業(公演プログラム)	R5年6月25日他	能「碓潜 船出之習」(観世流) 出演:遠藤和久(シテ方観世流)、遠藤喜久(シテ方観世流) 他	目標値	1,529
		能楽堂		実績値	1,770
4	わたしたちのオルガン～専属オルガニストが教える講座&発表会	R5年5月9日他	講師:石丸由佳(りゅーとぴあ専属オルガニスト)	目標値	20
		コンサートホール		実績値	35
5	音を知り、人を知る～ジュニア音楽教室運営	通年	碓山隆一郎(B合奏指揮)、藤井裕子(A合奏指揮) 庄司愛・原山美香・平山真紀子(ヴァイオリン) 他	目標値	400
		新潟市音楽文化会館他		実績値	231
6	マイ・フェバリット・ステージ～It's ニイガタ concert	R6年1月20日他	高橋宣明(テノール)・八子真由美(ピアノ)/シューベルト:魔王 他	目標値	1,000
		コンサートホール		実績値	434
7	表現者になる!～アウトリーチ音楽家育成事業	R5年9月15日他	小林浩子 モーツァルト/トルコ行進曲、ショパン/バラード2番 他	目標値	300
		新潟市立木崎小学校他		実績値	1,194
8	音楽堂の真の姿が見えてくる～音楽アーツマネジメント研修	R5年8月8日他	公共ホール概論、りゅーとぴあ概論、アウトリーチ概論、アウトリーチ体験、「ヨーロッパ美味・美音紀行」他	目標値	8
		練習室4他		実績値	8
9	Noism Company Niigata 研修生カンパニーNoism2 育成事業	通年	『Ananta』演出振付=糸川祐希 出演:兼述育見、土屋景衣子、渡部梨乃、太田菜月 他	目標値	609
		スタジオB他		実績値	562
10	APRICOT 運営	R5年度下半期	戸中井三太(演技指導) 内堀照子(ダンス指導) 西潟明美(歌唱指導)	目標値	55
		ギャラリー他		実績値	60
11	プロ・オーケストラと共演!～にいがた東響コーラス	R5年4月19日他	合唱指揮:辻博之 メンデルスゾーン/交響曲第2番 変ロ短調「讃歌」	目標値	120
		コンサートホール他		実績値	120
12	はじまりはベビーカー～東響ロビー・コンサート	R5年6月4日他	出演:鳥塚心輔、住川佳祐(トロンボーン)、曲目:大野雄二/ルパン3世のテーマ 他	目標値	750
		コンサートホール ホワイトエ		実績値	770
13	全てはこの一瞬のために～ジュニア音楽教室成果発表公演	R5年7月16日他	指揮:馬場幸 ピアノ:高橋歩美 「クラシック」フォーレ/小ミサ曲 他	目標値	2,050
		コンサートホール		実績値	1,479

14	Noism Company Niigata 普及啓発事業（アウトリーチ、各種ワークショップ）	R5年6月7日他	「Noism レポートリー」 Complex (2021年)、レクチャー、体験コーナー 講師：山田勇氣 他	目標値	2,500
		新潟市立亀田小学校他		実績値	1,427
15	アーティストとの連携 「ともに考える演劇プロジェクト」	R5年5月30日他	カンパニーデラシネラによる学校公演「はだかの王様」、演出 小野寺修二、出演 藤田桃子、荒悠平 他	目標値	330
		劇場舞台他		実績値	285
16	能楽事業（普及プログラム）	R5年7月22日	仕舞「高砂」の実演、能のお話、謡「高砂 待謡」の体験、楽屋で能面・装束の紹介、講師：川瀬隆士 他	目標値	367
		能楽堂		実績値	673
17	APRICOT 成果発表公演	R5年8月4日他	演目：「雪の女王」 原作：ハンス・クリスチャン・アンデルセン 脚本：戸中井三太	目標値	2,200
		劇場		実績値	1,577

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

#### 自己評価

事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が進められているか。

本助成金の事業計画「五つの力を磨き実現する『芸術と創造のみなと』」は、計画策定時において「ミッション、ビジョン、地域の特性等」と「アウトカム」が連関する構造で組み立てを行っている。

新潟市に根付いた踊り文化、能楽文化、音楽文化、演劇文化を「継承」「発展」させたうえで、時代や劇場法等の要請である「創造」「交流」「発信」「まち・社会づくり」にも対応できるよう開館以来25年間でブラッシュアップしてきた特色ある事業は4つの事業系統「①：文化度向上系事業」「②：社会包摂系事業」「③：生きがい創出系事業」「④：仕事創出系事業」に分類できるが系統内各事業の関係性を意識して実施することで、五つの力である【交流力】【発信力】【循環力】【包摂力】【求心力】を磨き「3つの最終アウトカム」発現を目指す事業計画としている。この事業計画はいわば設計図（中心を担うのは日本唯一の公共劇場専属舞踊団 Noism）であり、アウトカムの発現、つまり設計図の具現化のために、時間軸による「直接アウトカム（1年以内）」「中間アウトカム①（2～3年後）」「中間アウトカム②（4～5年後）」と「対応する指標」を設定、事業計画の1年目である令和5年度における「直接アウトカム」の指標達成状況は概ね良好だった（指標の一部の測定に遅延が発生）。

令和5年度実績の一例をあげれば、「①：文化度向上系事業」の直接アウトカムである「観客の舞台芸術への理解が深まる、知識が増える、感動する」の指標として設定した、全事業（助成対象事業以外を含む）の鑑賞者等満足度は98.6%（アンケートで満足・まあ満足と答えた率の合計、指標値95%）、舞踊公演（事業番号2・9）への新規来場者率も19%（新潟公演実績・指標値10%）と高いレベルで達成できた。

また「②：社会包摂系事業」の直接アウトカム「居住地域や家庭環境等に関わらず芸術文化に触れられる」の指標として設定した、舞踊アウトリーチ事業（小中学校向：事業番号14）実施数は19（指標値12）、舞踊障がい者向けワークショップ（視覚・聴覚：事業番号14※聴覚は助成対象外事業）実施数は2（指標値2）、「③：生きがい創出系事業」の直接アウトカム「参加者・会員同士等の交流機会がもたれる」の指標として設定した、一般市民向け舞踊オープンクラス実施数は24（指標値19：事業番号14）、「④：仕事創出系事業」の直接アウトカム「新潟に関わりあるアーティスト、スタッフが活躍する」の指標として設定した、研修生カンパニーNoism2在籍数は13人（指標値8人：事業番号9）と、いずれも達成している。最終アウトカムである

1. 「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」が盛んに行われている
2. 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている
3. 芸術文化が「まちづくり（観光・国際交流・経済等）」に寄与している

発現を目指して、事業計画を予定通り進めている。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

上記の「①：文化度向上系事業」には「文化的、社会的」、「②：社会包摂系事業」には「社会的」、「③：生きがい創出系事業」には「社会的、経済的」、「④：仕事創出系事業」には「経済的」意義があるため、これを実施し、5つの力を磨き、3つの最終アウトカム発現を目指す本助成金の事業計画により各意義は継続していく。

具体的には、本事業計画の中心事業である日本唯一の公共劇場専属舞踊団 Noism の「芸術性の高い舞踊作品の東京、岡山、熊本等国内各地での上演（事業番号2）による我が国の文化・芸術水準の向上に貢献」は文化的意義、Noism や地元音楽演奏家等の「アウトリーチ事業（一部に助成対象外事業を含む：事業番号7等）への市内小学生を中心とした約4,000人の参加」は舞台芸術の面的な広がりを実現する社会的意義、Noism に在籍するダンサーやジュニア音楽教室の講師となる地元音楽家に「仕事の間を作っている（事業番号5等）」ことには経済的意義が認められる。今後も系統内各事業の関係性を意識して実施することで各意義の継続・拡大に努めていく。

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成し、アウトカムの発現は可能か。

事業計画に定めた各活動のアウトプットにおけるアウトカム指標の達成度とアウトカム発現の可能性にかついで自己評価する。

目標①文化度向上系事業で「交流力・発信力・求心力」を磨く ②社会包摂系事業で「循環力・包摂力」を磨く  
③生きがい創出系事業で「循環力・交流力」を磨く ④仕事創出系事業で「循環力・求心力」を磨く

直接アウトカム／目標①「観客の舞台芸術への理解が深まる、知識が増える、感動する」  
(1年以内) 「他の文化団体との関係性が深まる」

目標②「居住地域や家庭環境等に関わらず芸術文化に触れられる」

目標③「参加者・会員同士等の交流機会がもたれる」

目標④「新潟に関係わりのあるアーティスト、スタッフが活躍する」

事業系区分	<アクション:活動> 事業名・活動名 ※:助成対象外事業	<アウトプット: 産出> 結果	令和5年度		
			<アウトカム:成果> (直接アウトカム指標)	指標の達成状況	アウトカム発現の可能性
公演事業	管弦楽の真髄 ～東響演奏会プログラム ※「オルガンリサイタル」	・公演回数 ・来場者数	来場者の公演満足度/ 95%	来場者の公演満足度/ 99.2% ※「オルガンリサイタル」のみ 98.7%	指標を達成/年5回の東響定期演奏会で多くの観客に感動を与えることができた。アウトカム発現が見込まれる。
	Noism Company Niigata NoismO/Noism1公演	・公演回数・来場者数 ・主催公演数 ・他館主催(受託)ほか	新潟公演来場者数/ 年3,235人	新潟公演来場者数/ 3,169人	指標は未達ではあったが、地域を拠点とした活動は舞台芸術の理解を深める機会となっている。アウトカム発現に期待できる。
	能楽事業 (公演プログラム)	・公演回数 ・来場者数	・公演回数/年3回 ・来場者数/年800人	・公演回数/5回 ・来場者数/1,770人	指標を達成/狂言公演で多くの集客に鑑賞機会の提供ができた。アウトカム発現が見込まれる。
人材養成	わたしたちのオルガン ～専属オルガニストが教える 講座&発表会 表現者になる! ～アウトリーチ音楽家育成事業	・音楽アウトリーチ/ 実施回数 ・音楽アウトリーチ/ 登録アーティスト数 (過年度登録者含む)	オルガニスト・アウトリーチ 音楽家アンケート「スキル アップになりましたか?」 YES回答率90%	YES回答率/100%  (アンケートデータなし)	指標を達成(音楽家育成事業除く)/演奏家・愛好者に音楽の学習・体験の機会を提供することから音楽についてのスキルを向上させることができた。今後のアーティストやスタッフの活躍が期待され、アウトカム発現が見込まれる。
	音楽堂の真の姿が見えてくる ～音楽アーツマネジメント研修		研修生アンケート「スキル アップしましたか?」 YES回答率80%	YES回答率/100%	
	音を知り、人を知る ～ジュニア音楽教室運営	・レッスン回数 ・参加者数	・参加者アンケート「この活動は生活の充実に繋がっていますか?」 YES回答率90%	(アンケートデータなし)	(次回以降の参加者アンケート設問において、この指標を設けることでアウトカム発現の可能性を点検したい)
	プロ・オーケストラとの共演! ～にいがた東響コーラス	・練習回数 ・参加者数	・参加者アンケート「この活動は生活の充実に繋がっていますか?」 YES回答率90%	YES回答率/98.9%	指標を達成/音楽活動に携わること、また参加者同士の交流により生きがいとして生活の充実に繋げることができた。アウトカム発現が見込まれる。
	Noism Company Niigata Noism2育成事業	・公演回数 ・来場者数	研修生カンパニーNoism2 在籍数/8人	4月～8月/9人 9月～3月/13人	指標を達成/りゅーとびあを拠点として活動する若い舞踏家の今後の活躍が更に期待できる。アウトカム発現が見込まれる。
	APRICOT運営	・APRICOT 稽古回数	・稽古回数/週3回を10ヵ月継続 ・参加者アンケート「APRICOTで新しい友達が1人以上できた」 YES回答率60%	・稽古回数/稽古期間で週3回を12ヵ月継続 ・YES回答率/93.3%	指標を達成/子どもの生活で家族、学校、そして参加者同士の交流と仲間が生まれる場として生活の拠点になった。アウトカム発現が見込まれる。
普及啓発	はじまりはベビーカー ～東響ロビーコンサート ※「1コインコンサート」	・公演回数 ・来場者数	来場者数アンケート調査 「公演があると出かけることが増えますか?」 YES回答率 90%	YES回答率/65.0%  ※YES回答率/63.4%	指標を未達成/様々な環境にある大人や子どもたちが芸術文化に触れる機会になっているが、その周辺における環境整備までに至っていない。次年度以降、地域社会とも相談して新しい提案を考えたい。
	全てはこの一瞬のために ～成果発表公演			YES回答率/33.1%	
	Noism Company Niigata アウトリーチ 各種ワークショップ	・アウトリーチ回数 ・ワークショップ回数 ・オープンクラス回数	・アウトリーチ実施数(小中学校)/年12回 ・ワークショップ実施数(障がい者対象)/年2回 ・子ども向けワークショップ実施数/年1回	・アウトリーチ/19回 ・ワークショップ/2回 ・子ども向けWS/3回	指標を達成/社会包摂の観点から大人から子どもまで多様な人たちが舞踊を体験できる機会とした。この活動によりアウトカム発現が見込まれる。
	アーティストとの連携 「ともに考える演劇プロジェクト」 ・演劇アウトリーチ(OR) ・演劇ワークショップ(WS)	・参加者満足度 ・実施回数	・OR、WS参加者アンケート「これに参加されて満足しましたか?」YES回答率90%、WS参加者アンケート「今までにない経験になりましたか?」YES回答率50%	・アウトリーチYES回答率/96.3% ・WS(満足度)YES回答率/100% WS(経験)YES回答率/97.7%	指標を達成/演劇メソッドにより多様な子どもから大人までの参加者でコミュニケーション力を養うことができた。新しい体験により新たな自分自身を発見できる機会にもなった。アウトカム発現が見込まれる。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

大きな変更なく計画通りに適切な事業期間で概ね実施できたため、各助成対象事業の入場者数等アウトプットは、計画値（目標値・要望額）と大きな乖離はなく、事業計画を予定通り進めることができた。なお、対象事業合計で、入場者・参加者数は目標比92.6%の実績、助成対象経費は要望額比98.8%の実績であった。

#### 凡例 事業番号：事業名（略称）

- 1：東響演奏会プログラム      2：Noism0/Noism1 公演事業      3：能楽事業（公演プログラム）  
 4：専属オルガニストが教える講座&発表会      5：人を知る～ジュニア音楽教室運営  
 6：It's ニイガタ concert      7：アウトリーチ音楽家育成事業      8：音楽アーツマネジメント研修  
 9：研修生カンパニーNoism2      10：APRICOT 運営      11：にいがた東響コーラス  
 12：東響ロビー・コンサート      13：ジュニア音楽教室成果発表公演      14：Noism 普及啓発事業  
 15 ともに考える演劇プロジェクト 16：能楽事業（普及プログラム）      17：APRICOT 成果発表公演

事業番号	入場者・参加者数 (目標・実績)	実施回数等 (目標・実績)	助成対象経費 (要望額・決算額)
1	5,912人・6,046人	6回・6回	51,625千円・58,537千円
2	4,800人・4,571人	11回・11回	60,385千円・55,556千円
3	1,529人・1,770人	5回・5回	14,714千円・15,106千円
4	20人・35人	通年・通年	3,692千円・2,322千円
5	400人・231人	通年・通年	13,905千円・15,363千円
6	1,000人・434人	4回・4回	980千円・793千円
7	300人・1,194人	21回・23回	2,140千円・936千円
8	8人・8人	4日間・4日間	71千円・68千円
9	609人・562人	通年・通年	7,914千円・8,445千円
10	55人・60人	9～2月・9～2月	1,342千円・1,343千円
11	120人・120人	4～8月・4～8月	1,887千円・1,377千円
12	750人・770人	5回・5回	250千円・536千円
13	2,050人・1,479人	3回・3回	2,849千円・2,492千円
14	2,500人・1,427人	通年・通年	682千円・579千円
15	330人・285人	3回・8回	3,194千円・1,861千円
16	367人・673人	10回・14回	1,369千円・1,019千円
17	2,200人・1,577人	4～8月・4～8月	6,571千円・5,203千円
<b>合計</b>	<b>22,950人・21,242人</b>		<b>173,570千円・171,536千円</b>

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

上記の通り、各助成対象事業の事業費（助成対象経費）の合計は、当初計画と大きな乖離はなかったが、一部事業で要望額/決算額が20%以上乖離したものがあつたため（事業番号4・7・11・12・15・16・17）、令和6年度以降はより精度を高めた要望額積算及び助成対象経費の予算執行に努めていきたい。

## (4) 創造性

### 自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている（と認められる）か。

本事業計画における創造性の中心軸は、各分野における優れた才能を持つ専門人材である。全国で唯一の公共劇場専属舞踊団である Noism Company Niigata を率いる金森穰（芸術総監督）は、自身が優れた舞踊家であるだけでなく、「世界の断面」を鮮やかに視覚化することのできる振付家でもある。彼が、日々同じ劇場に集い、同じメソッドでトレーニングを重ねて同じ身体感覚を獲得してきた舞踊家たちと作る舞台は、唯一無二の『集団としての訴求力』を持つ。井関佐和子（国際活動部門芸術監督）、山田勇氣（地域活動部門芸術監督）はその舞台を形作る重要なメンバーであるが、彼らだけでなく Noism に所属する舞踊家一人一人が簡単には誰も代わることができない貴重な存在であり、創造性の発揮・具現化は彼らなくしてあり得ない。また、コロナ禍を乗り越え活発な活動を続ける東京交響楽団（準フランチャイズ提携オーケストラ）や、現在のわが国のオルガン奏者として最も活発に演奏活動を展開している石丸由佳（第4代専属オルガニスト）、新たに数年にわたるプロジェクトを始めることになった特異のステージ感覚を持つ小野寺修二など、関係性は劇場専属・提携等さまざまであるが、それぞれとの特別な関係なくしてこの多様性に富む本計画は生まれなかった。彼らの持つ創造性こそが、本計画を形作る出発点であった。その上で、次に触れる独創性・新規性・先導性の各カテゴリーにおいて、特筆すべき成果が開花した。

#### ① 独創性

Noism Company Niigata は、総監督金森穰を含む選抜メンバー3人からなる Noism0（ノイズムゼロ）、プロフェッショナルの10人の舞踊家からなる Noism1（ノイズムワン）と、研修生で形作られる Noism2（ノイズムツー）の3層で構成されている。Noism2 は日々、Noism1 のメンバーと同じトレーニングを受けつつ作品を創造して普及啓発事業（事業番号「14」）や定期公演（事業番号「9」）に臨み、Noism0・1 は彼らを指導・育成しつつ世界を視野に入れた作品創造に取り組んでいる（事業番号「2」）。Noism はまもなく創設から20年となるが、このように年間を通じて活発で多様な活動に取り組んでいる舞踊家集団は我が国には他に存在せず、きわめて独創性に富んだ存在である。

#### ② 新規性

東京交響楽団と Noism は、2023年12月31日に開催したジルベスター・コンサートで初共演を行なった（事業番号「1」）。東京交響楽団による新潟定期演奏会（事業番号同）は、令和5年度に限っても武満徹の映画のための作品や井上道義の交響詩、R. シュトラウスの大規模な管弦楽作品など、ほぼ確実にプロ・オーケストラによる本県初演の楽曲演奏を行ってきたが、Noism と上演したラヴェル作曲「ボレロ」は、年末の特別なコンサートのクライマックスにふさわしい、新規性あふれる舞台であった。

#### ③ 先導性

能楽事業の普及プログラム（事業番号「16」）は能楽堂という特殊な空間を活用し、親子や在住外国人を対象に能楽師と相談を重ねて内容を工夫した。同じく小中学校に訪問して行った能・狂言アウトリーチは、ただ学校に行くということ以上にその対象者に合わせたアプローチ方法を能楽師・狂言師と探って経験知を積み重ねてきており、先導性があると言える。また、演劇部門で行っている「アーティストとの連携「共に考える演劇プロジェクト」」（事業番号「15」）は、小野寺修二などの優れた演劇人と語り合う中で、新潟市と言う土地、地域社会にどのようなアプローチが考えられるかを最初の一步から作っていくものであり、事前に一定の枠をはめていない。今後、思いもよらぬ成果に結びつく可能性があり、きわめて高い先導性を有している事業であると言える。



## 自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

本事業計画の実施によって、当館の評価は確実に高まった。Noism0/1 公演事業（事業番号「2」）では、新潟6公演平均の市外・県外からの来場者が、アンケート回答者の23.5%であった。東響演奏会プログラム（事業番号「1」）では6公演平均で24.8%、能楽事業公演プログラム（事業番号「3」）では34.3%に達しており、当館が広く市外・県外から多ジャンルの公演で注目を集めたことを示している。

お客様の評価も圧倒的で、Noismの公演では「満足」との回答が87.5%の高率に達した。東響演奏会プログラムでも82.7%、能楽事業公演プログラムでも83%となり、いずれも極めて高い満足度が示されている。

「息を忘れるくらいのめり込みました。本当に満足感がすごかったです。（10代、Noism公演）」

「欲張り企画、福袋のようなコンサートでした！新潟の客層を本当によく考え抜いた、芸文（りゅーとぴあ）ならではのオンリーワン企画だと思います。（40代、東響演奏会プログラム）」

「ここまで遠路はるばる観にきて本当に良かったなあと考えた曲でした。年の終わりにこの様に大笑いできる狂言、しかも、なかなか、かからないめずらしいものを観られて本当によかったです。感無量でした。（30代、能楽事業公演プログラム）」

など、自由記載欄にも絶賛の言葉が並んだ。

高い評価はお客様だけではない。Noism公演では、

「作品は具体的な物語の表現ではない。だが、長い時間をかけ舞踊の語彙を積み重ねてきた2人の対話が胸を打つ物語となり、静かに舞台に立ちあらわれる。音楽、美術、衣裳によって醸成される超時間的な感覚が媒介となり、抽象的な舞踊の本質が観客と共有された。（岡見さえ／2023年7月20日朝日新聞）」

「今回の二つの作品は『領域とは自分が生きていくための場所なのだ』と語りかけてくる。描き方は違っても根底で呼応し合う二作品だった。（乗越たかお／DANCEMAGAZINE2023年10月）」

と、専門家からも高い評価を受けた。

地域社会にも、大きな変化が表れている。地域のジュニア世代・アマチュアに対して、優れたプロフェッショナル人材が刺激を与え指導するのが次の6事業であるが、いくつもの事業分野において多角的なアプローチがなされており、地域の文化的環境そのものを変えている。特に、ジュニア向け事業（事業番号「5」「10」）からは地域文化を支える人材が輩出され、活発な活動の中心を担っている。

事業番号	事業名	内容
4	わたしたちのオルガン～専属オルガニストが教える講座&発表会	オルガンレッスン・発表会
5	音を知り、人を知る～ジュニア音楽教室運営	管弦楽・合唱・邦楽合奏練習
10	APRICOT 運営	ジュニア劇団運営
11	プロ・オーケストラと共演！～にいがた東響コーラス	合唱愛好者レベルアップ
13	全てはこの一瞬のために～ジュニア音楽教室成果発表公演	演奏会開催
17	APRICOT 成果発表公演	演劇公演開催

さらに次の3事業は、プロとして地域や我が国の文化を担っていく人材を育成していくことを目標としており、こちらからも優れた人材が生まれている。

事業番号	事業名	内容
7	表現者になる！～アウトリーチ音楽家育成事業	プロの音楽家育成
8	音楽堂の真の姿が見えてくる～音楽アーツマネジメント研修	プロのホール職員育成
9	Noism Company Niigata 研修生カンパニーNoism2 育成事業	プロの舞踊家育成

この他、本事業計画において、すそ野を広げる役割を果たすアウトリーチやワークショップが数多く行われている。その受益者は令和5年度だけで約4,000人に達しており、地域に大きな影響を及ぼしている。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

本事業計画の実施による組織活動の変化について、令和5年度は「事業運営」および「人事戦略」の面からまとめる。ただし前段として、助成1年目にあたる令和5年度は、PDCAサイクルにおける「C=Check」に相当する事業評価において新しい取り組みが多かったため多大な時間と労力を要しており、取り組みの一部を令和6年度に持ち越す状況となっている（令和6年度中に持ち越しは解消される見込み）。

事業運営の面において、令和5年度はアウトカムの発現を測るための指標に基づく評価活動として事業アンケートの改良および新規開発を行ったことが主要な取り組みとして挙げられる。アンケートは令和4年度まで公演事業のみだったが、新たに人材養成事業や普及啓発事業（本助成対象事業を含む、主にアウトリーチ・ワークショップ・講座系の全事業）も対象として実施。そのため前年度のアンケート実施数64に対し、令和5年度のアンケート実施数は130に上った。特筆すべきこととして、アウトリーチ事業においては訪問先小中学校の児童・生徒だけでなくアウトリーチ開催を申し込んだ担当教諭にも初めてアンケートを実施している。これにより、学校現場における「生の舞台芸術を体験させたい」「学校の授業では体験できないからアウトリーチを実施したい」などのニーズ等を把握することが出来たため、令和6年度の同事業実施に向けた事業改善への取り組みに繋げる。この事例のように助成対象事業でアンケートが実施できたものについては、データを事業評価・業務改善・事業の見直しに積極的に活用しようという動きが組織内各所で見られるようになり、これは事業運営面における組織活動の変化のひとつと言える。

人事戦略の面において、当館では人材養成の一環として業務の専門性を高めるため職員の研修参加を奨励している。令和5年度は文化芸術の事業評価について知見を得るべく、アンケート業務担当の職員2名が可児市文化創造センターala主催「あーとま塾2024」に参加。これにより「評価的思考」や評価手法のひとつである「参加型評価」等の知見を持ち帰ることができ、これを用いて子どもの育成事業であるジュニア音楽教室等を対象とするアンケートの設計では、評価手法にアンケートだけでなくインタビューも取り入れるなどの変更を加える等、評価計画の修正を断続的に行っている。

令和5年度を総括すると、PDCAサイクルはまだ一巡していないが、このように事業評価に丁寧に取り組むことで事業改善ひいては組織活動の持続的な発展につなげていく第一歩の年であったといえる。

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

「(2) 有効性」記載の16事業（助成対象外2事業を含む）のうち10の事業で指標を達成したが、4事業で指標を達成できなかった。このうち3事業は同一指標である「公演があると出かけるが増えますか？YES回答率90%」を達成できなかったが、指標設定をした当館と来場者の「公演と外出の相関関係」に対する認識に差があることが分かったため、踏まえて指標の見直しを図りたい。また2事業（事業番号7：アウトリーチ音楽家育成事業・同5：ジュニア音楽教室運営）で指標の達成状況を測れなかった。これはアンケート実施数の倍増に比例して関連業務が増加し、本指標の達成状況を調査するためのアンケートの作成やデータ管理・分析が間に合わなかったため、令和5年度中に評価計画の修正を実施済みであり令和6年度に持ち越し実施する。

指標を達成した事業についてはそれぞれの数値実績は高く、加えてアンケート実施数を大幅に増やし収集したデータを管理・分析し、PDCAサイクルにおける「C=Check 自己評価/事後評価」の段階で効率的且つ有効に活用し、「A=Action 事業改善」につなげることを続けることで、当初の計画通り、直接アウトカが紐づく中間アウトカムを発現させ、最終アウトカム発現につながるという、持続的なアウトカムの発現・定着は可能であると考えている。